

J R 総連通信

2023年11月9日 No.1688

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>



11月7日、JR総連・9条連共催の「平和集会」を目黒さつきビルで開催しました。

主催者を代表して、JR総連・山口浩治執行委員長、9条連・秋山淳子氏が、「今こそ『戦争反対！憲法改悪反対！』の声を上げ、平和運動を通じて仲間を増やしていかなければならない。イスラエルとハマスの一刻も早い停戦を実現するためにも、社会に訴えていこう」と挨拶されました。

9条連からは問題提起として「関東大震災から100年我々は何を学ぶべきか『関東大震災と朝鮮人虐殺事件』現地踏査報告」を通じて、参加者へプロパガンダに騙されることなく、真実を見抜いていくことの必要性を訴えました。

その後、元文部科学事務次官で「現代教育行政研究会」代表の前川喜平氏より、「新たな戦前に抗し、平和・人権・民主主義を守り抜こう」と題して講演がおこなわれ、その中で「憲法は本来、国家権力を縛るものであり、主権者である国民がしっかりと憲法を学ぶ必要がある」「安倍政権をはじめこの間、自民党政権が進めてきた『集団的自衛権の行使容認』や『敵基地攻撃能力の保有』などは憲法違反である」「日本版軍産複合体がつくられてきているが、軍産複合体は戦争がなければ消滅してしまうので、戦争を引き起こそうとしている。さらにそこに学問が加わり、軍産学複合体となる危険性があるが、日本学術会議がその動きへの歯止めとなっている」「平和とは軍事均衡でもたらされるものではなく、人間らしい生活を送れる条件が整って、人間と人間とが心を通わせることによって礎が築かれるものである。二度の大戦を経てたどり着いた知恵であり、大事にしなければならぬ」と訴えられました。



最後に、まとめとして9条連・齋藤弘敦事務局長より、軍事大国化と同時に、国民監視も進められている。日常にも戦争の足音が近づいている。私たちはその兆候を見逃さず、仲間とともに議論し声を上げていく必要性を訴えられました。今平和集会を機にさらに憲法9条改悪反対！軍事大国化反対！すべての戦争に反対するたたかいを、職場と地域から進めていくことを全体で確認し、平和集会は終了しました。